

V20b CANGAROO7/10m 望遠鏡計画の現状報告-III (7m 望遠鏡性能評価)

櫛田 淳子 (東工大理)、他 CANGAROO チーム

現状報告-II に引き続き、CANGAROO 7m 望遠鏡の性能および解析結果について報告する。

7m 望遠鏡は昨年3月に完成し、6月から運用を開始している。直径7.2m、有効面積 30 m^2 の主鏡部分でチェレンコフ光を集光することによってエネルギーしきい値が300GeV程度まで引き下げられ、フラックスの多い300GeVから10TeVのエネルギー範囲でガンマ線を観測することが可能になった。このエネルギーしきい値は観測データからPMTに入射するphoton数とTDCで測定される光量との対応関係を求め、さらにシミュレーションの結果と比較することで見積もることができる。

本講演ではエネルギーしきい値などの望遠鏡の性能、および観測データの解析結果について述べる。